

石元泰博氏写真作品等の利活用に関するビジョン

1 高知県立美術館と石元コレクションについて

高知県立美術館は、「郷土関係作家」「マルク・シャガール」「新表現主義および表現主義の作家」という収集方針のもと、優れた美術作品の収集・保存・研究・公開・教育普及活動を行うために、平成5(1993)年の開館以来、国内外の芸術を幅広く紹介する展覧会や公演、ワークショップ等を開催してきた。

世界的な写真家として知られる石元泰博氏は、高知県高岡町(現土佐市)出身の両親の長男としてサンフランシスコに生まれ、幼少期から10代にかけて高知県で育ったプロフィールをもつことから、高知県立美術館にとって最も重要な「郷土関係作家」のひとりである。

高知県立美術館は、平成13(2001)年の「石元泰博写真展 1946 - 2001」開催以降、石元氏の生前から没後にかけて段階を追って高知県にご寄贈いただいた作品や資料を調査・研究する一方、これまでに特別企画展やコレクション展<資料1>を度々開催し、昨年は総目録化事業としてレゾネ第1巻<資料2>を刊行するなど、石元氏の業績を紹介する自主事業を積極的に行ってきた。また、石元泰博コレクション(以下、石元コレクション)の貴重性を鑑み、全国各地の美術館での石元展<資料3>開催や高知新聞紙上の長期連載<資料4>に協力するなど、その価値を広く社会に還元する活動にも尽力してきた。

現在の石元コレクション<資料5>は、石元氏が直接手がけたものだけでも、学生時代から晩年までの活動を網羅したプリント34,753枚、ネガフィルム約100,000枚、ポジフィルム約50,000枚など、その数は膨大である。さらに書籍・写真集、カメラ機材、交流のあった他作家作品なども加わったことで、高知県立美術館における石元コレクションは、写真家・石元泰博氏の表現活動に関わるほとんどすべてのものが一カ所に在る、という比類ない特徴をもつにいたった。また、併せて著作権譲渡を受けたこともその独自性を増している。

この希有な石元コレクションを社会の共有財産とし、多くの人々の利用に供する活動をより一層進めていくことは、芸術鑑賞を通じて地域文化の向上に貢献するという公立美術館の基本理念に照らし合わせても、きわめて重要性が高いといえる。

- <資料1> 高知県立美術館における石元コレクション活用の展覧会実績
(平成24年度コレクション展「追悼展 写真家・石元泰博の軌跡」開催報告)
- <資料2> 館蔵目録10『石元泰博コレクション1 桂・伊勢』概要
- <資料3> 高知県立美術館から他館への石元コレクション貸出実績
- <資料4> 石元泰博氏及び石元コレクションに関する地元新聞記事一覧
- <資料5> 石元コレクションの内容

2 「石元泰博フォトセンター」について

① 意義

石元コレクションの網羅的な価値を一層高め、広めるために、高知県立美術館は、シャガールと並ぶ二大コレクションに位置づけるにとどまらず、長期的な保存・管理継続的な調査・研究、総合的な発信等を行う機関として、石元泰博氏の名前を冠した「石元泰博フォトセンター」を設ける。

② 名称

高知県立美術館 石元泰博フォトセンター

③ 体制

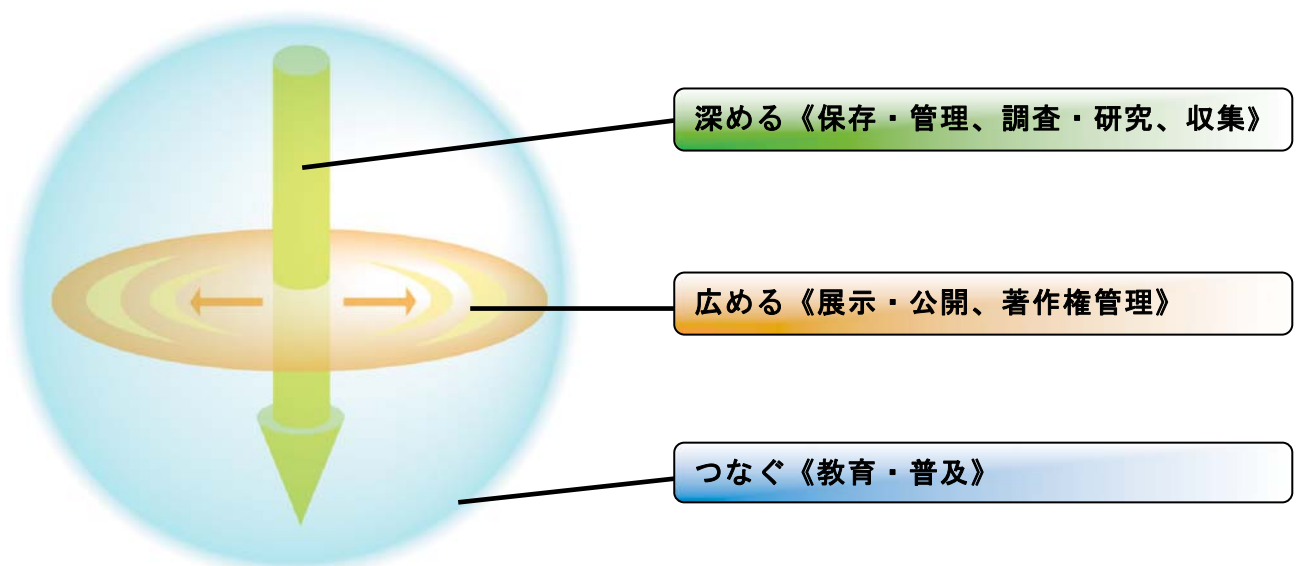
石元泰博フォトセンターは学芸課内に置き、学芸員3名を専従とする。

センター長1名（学芸課長）、センター長代理1名（学芸課チーフ）を兼務とする。

3 「石元泰博フォトセンター」の目指す姿

「石元泰博フォトセンター」は、貴重な石元コレクションを後世に伝えるための「保存・管理」、「調査・研究」を基本に置きつつも、展覧会やデータベース等を通じた「公開」や講演会等を通じた「教育・普及」活動に力を入れ、石元芸術を国内外多くの人々にとっての共有財産とする場や機会を積極的に創出していく。

また、その網羅性を補完するための「収集」活動を継続することで、総合的なアーカイブへとたゆまず成長させていく。



深める《保存・管理、調査・研究、収集》

- ・ プリントやフィルム、資料や書籍等、それぞれに適した環境の整備と長期間の保存・管理
- ・ 石元氏や作品に関する継続的な収集活動と総合的な研究活動の実施
- ・ 国内外の利用者、研究機関等との共同調査や研究による連携の構築

広める《展示・公開、著作権管理》

- ・ 石元コレクションの情報を対象としたデータベースの構築と公開
- ・ 展示に適した環境の整備と、常設展や企画展の開催
- ・ 他美術館等への作品貸出、共同企画展やコレクション巡回展の開催など、館外での作品公開の促進
- ・ テーマ別レゾネの継続的な発行と、石元コレクション総目録の完成
- ・ 著作権の適切な管理と運用

つなぐ《教育・普及》

- ・ 多くの人々が石元氏の作品や人生に興味や関心をもち、理解を深める活動の展開
- ・ 高知県民に郷土ゆかりの優れたアーティストとして親しみや誇りを感じてもらう活動の充実
- ・ オリジナルグッズや出版物等の企画や制作、頒布等を通じた普及活動の促進

4 「石元泰博フォトセンター」活動内容

◆=すでに着手し、継続中の活動

◇=1～2年目から着手予定の活動

★=3～5年目から着手予定の活動

深める

1) 保存・管理

◆プリントの状態や内容の確認、簡易複写等の基礎作業

◆フィルムの状態確認

◆資料や書籍等の内容確認とリスト化

◆石元コレクションの保存・管理等について、美術館や研究機関等と連携
【連携先（予定も含む）】

東京都写真美術館、東京国立近代美術館、日本写真保存センター、東京国立文化財研究所、全国美術館会議保存研究部会等

◇収蔵庫内にプリント収納用の棚を増設し、より良い保存環境の整備へ

◇現ライブラリーや講義室を改装し、作業・保管室を備えた「石元コーナー」を整備（フィルム保管庫を移動し、フィルムや資料、書籍等を管理）

<資料6>石元コーナー予定図面

★フィルムの内容調査

★プリントやフィルムのデータベース公開に向けた準備

2) 調査・研究、収集

◆美術館や研究機関等のアーカイブ活動についての実態調査

【調査先（予定も含む）】

慶應義塾大学アート・センター、武蔵野美術大学造形研究センター・大辻清司アーカイブ、東京国立近代美術館、横尾忠則現代美術館等

◆作品所蔵機関の調査

◆プリントやフィルムの撮影に関する情報調査や掲載誌等の文献調査・収集

◆関係者へのインタビュー

◇美術館や研究機関等とのネットワーク構築

【活動予定】

東京都写真美術館への新規採用学芸員2名の研修派遣（各3ヶ月間）

東京都写真美術館及び東京国立近代美術館との石元研究に関する提携 等

◇調査・研究のための助成金や補助金等の申請

【予定】

美術館連絡協議会等の個人研究助成、美術館活動助成

広める

3) 展示・公開

- ◆年1回のコレクション展開催
- ◆企画展の開催及び、図録の発行
- ◆他美術館等への作品貸出等を通じた、館外での作品公開

◇プリントや書籍、家具等の常設展示（展示場所：石元コーナー）

◇石元コレクションの部分的なウェブ公開

★美術館連絡協議会への企画展提案

★県内外の文化施設における石元コレクション展等の開催

【予定】

県外美術館（東京都写真美術館等）との生誕100年記念展やコレクション交流展開催準備、博物館等の県内文化施設でのコレクション展開催準備

4) 著作権の管理・活用

◇著作権の適切な管理・活用（クレジット表記は下記のとおり）

(C)高知県, 石元泰博フォトセンター

(C)Kochi Prefecture, Ishimoto Yasuhiro Photo Center

つなぐ

5) 教育・普及

- ◆石元氏と親交のあった方や研究者を招いた講演会やシンポジウムの開催
- ◇HPにサイトを立ち上げ、ウェブ上でミニ展覧会を行うなど、広報活動を推進
- ◇ポストカードやガイドブックなどのオリジナルグッズの制作、頒布
- ◇高齢者から子どもまで幅広い世代の県民が石元芸術に親しむための活動を検討
- ◇マスコミ等外部の協力者と共同した広報活動を検討

高知県立美術館における石元コレクション活用の展覧会実績

平成24年度

- ・コレクション展「追悼展 写真家・石元泰博の軌跡」
平成25(2013)年1月9日～3月2日
代表的な仕事を中心に104点展示
この他、カメラの一部とご自宅リビングの家具の特別展示
- ・企画展「物語る美術 所蔵作品による」
平成24(2012)年6月9日(土)～7月16日 6点展示
- ・コレクション展「没後20年 木口木版画家・日和崎尊夫とその周辺」
内での追悼展示
平成24(2012)年3月21日～6月24日(5月15日より後期展示)
前期後期合わせて 16点展示

平成23年度

- ・特別企画展「写真家・石元泰博の眼 桂、伊勢」
平成23(2011)年10月30日(日)～12月18日(日) 227点展示

平成22年度

- ・コレクション展「石元泰博フォトギャラリー ある日ある所」
平成22(2010)年12月26日～平成23(2011)年2月26日 98点展示

平成21年度

- ・コレクション展「新収蔵品+石元泰博フォトギャラリー」
平成22(2010)年1月14日～2月27日 87点展示

平成20年度

- ・コレクション展「美との出会いー郷土の作家を中心に」
平成20(2008)年5月14日～6月29日 8点展示
- ・コレクション展「石元泰博フォトギャラリー 東京、山手線」
平成21(2009)年1月17日～2月28日 80点展示

平成19年度

- ・コレクション展「石元泰博フォトギャラリー シブヤ、シブヤ」
平成20(2008)年1月9日～2月24日 86点展示

平成18年度

- ・コレクション展「石元泰博フォトギャラリー 冬のシカゴ」
平成18(2006)年10月26日～12月24日 78点展示

平成17年度

- ・コレクション展「フォトグラファー石元泰博の世界」
平成17(2005)年12月21日～平成18(2006)年2月26日(1月24日より後期展示)
前期後期併せて 80点展示

平成16年度

- ・コレクション展「新収蔵品を中心に」
平成16(2004)年12月22日～平成17(2005)年2月27日(2月1日より後期展示)
前期後期併せて 80点展示

コレクション展

【追悼展 写真家・石元泰博の軌跡】

第4展示室 会場風景

2013年1月9日～3月2日

学生時代から晩年までの代表的な作品 104 点を紹介。愛用のカメラや、品川ご自宅のリビングで使用されていた家具なども特別展示しました。



館蔵品目録10 『石元泰博コレクション1 桂・伊勢』概要

- 高知県立美術館が収蔵する 桂離宮 、 伊勢神宮 をまとめた収蔵品カタログ
- ・全166頁
- ・図版32頁
- ・INDEX 図版688点
- ・エッセー再録
 - 『桂離宮 空間と形』石元泰博
 - 『伊勢神宮』石元泰博
- ・テキスト
 - 『高知県立美術館の石元泰博コレクションについて』影山千夏(高知県立美術館)

高知県立美術館から他館への貸出実績

平成24年度

- ・佐世保市博物館島瀬美術センター
平成24(2012)年10月20日～11月25日
シリーズを広く紹介する内容(地域創造助成事業)158点
- ・文化フォーラム春日井
平成24(2012)年9月8日～10月11日
シリーズを広く紹介する内容(地域創造助成事業)158点
- ・今治市河野美術館
平成24(2012)年8月4日～8月30日
シリーズを広く紹介する内容(地域創造助成事業)158点
- ・ミード美術館(米国)
平成24(2012)年8月25日～12月30日
シブヤ、シブヤ 8点
- ・フォト・ギャラリー・インターナショナル
平成24(2012)年5月8日～6月16日
シカゴ、シカゴ 30点
- ・神奈川県立近代美術館 鎌倉館
平成24(2012)年4月7日～6月10日
桂離宮 255点

平成23年度

- ・ギャラリーエークウッド
平成23(2011)年11月8日～2012年1月20日
グリーン兄弟建築写真 18点

平成22年度

- ・水戸芸術館現代美術ギャラリー
平成22(2010)年10月9日～11月7日
シリーズを広く紹介456点
- ・ヒューストン美術館
平成22(2010)年6月20日～9月12日
桂離宮 21点

平成21年度

- ・土門拳記念館
平成21(2009)年4月7日～6月8日
シカゴ、シカゴ 51点

平成20年度

- ・土佐市(市制50周年記念事業)
平成20(2008)年10月31日～11月3日
シリーズを広く紹介 40点

計 11箇所 1,037点(地域創造は1館分のみで計算)

石元泰博氏及び石元コレクションに関する地元新聞記事

「特集 火曜見聞録 <うつりゆくもの変わりゆくもの 石元泰博の世界>」
影山千夏 平成 17 (2005) 4 月～平成 19 (2007) 年 3 月 月 1 回連載 全 24 回
高知新聞 (夕刊) 連載

「土佐カルチャー人物伝 1～3」
影山千夏 平成 18 (2006) 年 8 月 全 3 回連載 朝日新聞 (地方版) 連載

「石元泰博の世界」作品紹介
作品選定 大野由紀夫 (高知新聞) / 影山千夏 (高知県立美術館)
平成 19 (2007) 年 4 月～平成 24 (2012) 年 3 月 月 1 回連載 全 60 回
高知新聞 (朝刊) 連載 (作品紹介)

「シブヤ、シブヤ出版」全 1 面 *暗室やリビングの石元さんの姿なども紹介
取材 大野由紀夫 (高知新聞) 平成 19 (2007) 年 6 月 高知新聞 (朝刊)

「石元泰博写真展に寄せて」
大澤友貴 (写真研究家) 平成 20 (2008) 年 2 月 高知新聞 (朝刊)

「88 歳写真家 石元泰博さんに聞く 上・中・下」
取材 大野由紀夫 (高知新聞) 平成 21 (2009) 年 7 月 高知新聞 (朝刊)

「来年 6 月・米ヒューストン美術館 石元泰博さん「桂展」開催」
来高のヒューストン美術館中森学芸員へのインタビュー記事
取材 大野由紀夫 (高知新聞) 平成 21 (2009) 年 12 月 高知新聞 (朝刊)

「石元泰博さんを悼む」
森山明子 (武蔵野美術大教授) 平成 24 (2012) 年 2 月 高知新聞 (朝刊) 共同配信

「写真家・石元泰博さんを悼む どんなものにも命感じて」
大野由紀夫 (高知新聞) 平成 24 (2012) 年 2 月 高知新聞 (朝刊)

「石元泰博さんの部屋」
影山千夏 (高知県立美術館学芸員) 高知新聞 (朝刊) 平成 (2012) 年 3 月

石元コレクションの内容(平成25年5月現在)

プリント 34,753 枚

《日本(東京、万博、東北、祭、広島など)》、《シカゴ》、《かたち(プロダクト、習作、紙)》、
《うつろい(空き缶、落ち葉、雲、雪の足跡、人の流れ)》、《8×10(山手線29、都市開発な
ど)》、《桂離宮》、《伊勢神宮》、《花》、《多重露光》、《曼荼羅》、《ポートレート》、《ヌード》、
《シブヤ、シブヤ》、《仏像》など

映画フィルム

《The Church on Maxwell Street》

フィルム

・ポジフィルム 55,609 枚

《イスラム関係》、《クロード・モネ睡蓮》、《日本の庭園》、《古風土記、地方》、《花、植物》、
《東京》、《桂離宮》、《スナップ写真など》、《刻》、《曼荼羅》、《日本の都市、風景》、《家具・
工芸・美術品》、《人物》、《寺院・仏像》、《多重露光》、《生物》、《料理・食物》、《工業製品》、
《建築》、《エキスポ》、《沖縄》、《中国》、《韓国》、《中東》、《その他》など

・ネガフィルム 約100,000 枚

カメラ機材 カメラ 15 台、レンズ 40 個(その他パーツ・機材)

書画工芸品等 171 点

ポートフォリオ、他写真家、工芸品、書画など

蔵書類

写真集、一般図書、図録他 約5000 冊

家具、食器、玩具、手紙、切り抜き、習作、試作など

- 1 書籍は、及びアートライブラリーに収納
- 2 フィルムとフィルム保管庫は に収納
- 3 休憩ロビーは現状のまま展示・閲覧スペースに転用
窓ガラスには光線対策を行う
- 4 では、作品の展示も行う
- 5 、には企画展示室と同程度の空調設備を要する
- 6 、のスペースには内壁を新たに設置する

